

海老名市可燃物及び資源物収集並びに資源化センター運營業務委託に係
る公募型プロポーザル提案評価基準

選定委員は、別紙「評価基準表」の「評価の視点」に基づき評価する。

1 評価の段階等

評価の段階、評価の段階の基準及び点数については、次のとおりとする。

段階	評価の段階の基準	点数
A	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が実践可能かつ効果的であるなど、特に優れている。	5 点
B	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されており、その内容が実践可能かつ効果的であるなど、優れている。	4 点
C	「評価の視点」の内容等が具体的な記載により網羅されている。	3 点
D	「評価の視点」の内容等に関して、具体的な記載がないなど、不十分である。 ※代案の提示等により補完している場合は、不足がないものとして取り扱う。	0 点

2 順位について

(1) 選定委員ごとに合計点に基づく提案者の順位を決定し、順位点を算出する。

ただし、「合計総得点が満点に対して60%に満たない場合」又は「選定委員の半数以上が最低評価を下した項目がある場合」のいずれかに該当する場合は、当該提案者については、選外と取り扱うものとし、次の(2)から除外する。

(2) 順位点は次のとおりとする。

1 位… 5 点、2 位… 4 点、3 位… 3 点、4 位… 2 点、5 位… 1 点、6 位以降
… 0 点

(3) 選定委員全員の順位点の合計に基づき、審査における提案者順位を決定する。

3 順位点が同じであった場合の取扱い

次のとおり上位者を決定する。

(1) 評価基準表中の「運営体制・実施計画」の合計点が高い者

(2) (1)が同じであった場合、評価基準表中の「追加提案・独自提案」の合計点が高い者

(3) (2)が同じであった場合、提出された見積金額の低い者

【評価基準表】海老名市可燃物及び資源物収集並びに資源化センター運營業務委託

項目		具体的な評価内容	評価の視点	配点案
実績・規模	事業所の状況	事業所の状況 ①本社、営業所等の設置場所 ②車両保管場所 ③車両の保有状況 ※リール車両は自社保有と認める。 レンタル車両は自社保有と認めない。	評価の段階の基準に関わらず、次のとおり評価する。 ① 本社が市内にあること 本社、営業所等が市内にある[1点] / なし[0点] ② 車両の保管場所が市内にあること 半数以上[2点] / 半数未満[1点] / なし[0点] ③ 自社保有の車両であること 半数以上[1点] / 半数未満[0点]	15
	収集業務実績	実績判定 ①市町村が行っている可燃物又は資源物の収集運搬受託実績（過去5年間） ②集積箇所数（戸別収集箇所数又は集積所数）が 2,800か所以上 ③収集受託期間実績（過去5年間）	評価の段階の基準に関わらず、次のとおり評価する。 ①収集運搬受託実績 戸別収集・集積所収集実績あり[2点] / 集積所収集のみ実績あり[1点] / なし[0点] ②収集した集積箇所数 2,800か所以上[2点] / 1,600か所以上[1点] / 1,600か所未満[0点] ③収集受託期間実績 3年以上[2点] / 1年以上[1点] / 1年未満[0点]	
	選別業務実績	実績判定 ①市町村の一般廃棄物の選別業務受託実績（過去5年間） ②選別種類数（かん・びん・容ブラ・ペットボトル・不燃物・その他） ③選別作業を受託等していた施設の処理能力量	評価の段階の基準に関わらず、次のとおり評価する。 ①選別業務受託実績 市町村契約 あり[1点] / なし[0点] ②選別種類数 5種以上[2点] / 3種以上[1点] / 2種以下[0点] ③施設の処理能力量 5h処理量 20 t 以上[2点] / 5t以上[1点] / 5t未満[0点]	
運営体制・実施計画	運営計画（A4 2枚）	収集計画 ①収集車両体制、収集方法・時間などの収集計画（資源物持去りを含む） ②事故等が発生した場合の対応方法	①使用する収集車両の台数、車種等を示し、収集する方法と収集時間（想定根拠）を資源物の持去り対策を考慮した上で、本事業を問題なく履行できる状況であることを示してください。	10
			②事故等や現場トラブルが発生した場合の対応方法（応援体制や車両トラブルの対応）について提案してください。	
	選別計画	選別計画 ①処理の方針、処理設備の運用方法 ②資源物の選別方法や資源物の安定した売却先の確保の方法	①選別ラインの稼働方法（全ライン同時稼働or各ライン稼働）、処理時間想定、各ラインの配置人数（バックアップ体制含）、フォークリフト、資源物の保管設備等の設備の配置方針などの選別計画を示し、具体的に提案してください。	10
			②選別残渣を少なくする方法を提案してください。 資源物の売却については、安定的な売却ルートを確保するための方法を示してください。	
	安全・安定な運用（A4 2枚）	収集作業 ①安全かつ安定した収集作業の方針 ②車両運行の安全性や地域性を考慮した収集方法	①収集物の運搬方針、作業中の安全対策、作業員の管理方法について提案ください。 また、提案者は一般廃棄物収集の作業手順書を提出ください。 ※なお、当該作業手順書は、業務提案書の枚数には含めません。	10
			②車両運行の安全性（交通安全に関する表彰の実績など）及び地域性を考慮した収集方法（道路状況の熟知などの地域性に対応した収集など）について記載ください。 また、資源化センターへ搬入時、建物配置上の危険箇所を挙げ対応方法案を提示ください。	
	選別作業	選別作業 ①安全かつ安定した選別作業の方針 ②施設の長寿命化させる方法及び火災予防の措置	①提案者が管理又は受託している一般廃棄物処理施設での作業手順書を提出ください。（手選別ライン関係箇所又は準ずるところ） ※なお、当該作業手順書は、業務提案書の枚数には含めません。 評価基準：指示内容が明確か、注意事項は適切かなど（設備の操作方法は、取扱い方法が異なるため評価対象外とします） また、非常常作業と考える作業の指定方針（頻度と作業危険度により判断など）及び対応方針（責任者、作業者、それぞれの配置及び役割）を体制図を基に示してください。	10
			②長寿命化の基本である、日常点検、日常清掃の方法及び水準方針を示してください。また、火災等の防止策を提案ください。	
	人員の配置（A4 1枚）	人員配置方針 ①収集管理者及び現場管理者の配置方針 ②収集員及び選別員の配置方針	①収集管理者と現場管理者の配置方針（一般廃棄物収集運搬・処分業者講習（財団法人日本環境衛生センター）の受講などの状況や配置状況）を示してください。	10
			②収集員及び選別員の配置方針（正社員、実務経験者、予備人員の配置方針、急な欠勤時の対応方法）や社員教育（実施時期、頻度、時間等）・情報共有の方法（頻度や体制）について提案ください。 また、作業員のメンタルケア方法について提案ください。	
	環境配慮（A4 1枚）	環境配慮のための取組	環境配慮のための取り組みについて示してください。 ・アイドリングストップの視点や考え方 ・効率的な収集コースの研究などの有無 ・ハイブリッドパッカー車、電気フォークリフトの導入等 ・油流出時の対応 など	5
	連絡体制（A4 1枚）	本市との連絡体制 ・緊急時の連絡体制 ・事故等の報告	通常業務時間及びそれ以外の時間の本市との連絡体制について提案ください。特に、収集もれ時の対応方法及び本市が指定した集積所が当日収集済みを確認する体制について記載ください。 また、事故等発生した際の連絡体制や報告についても記載してください。	5
追加提案・独自提案（A4 2枚）		追加提案・独自提案 ①市民への啓発活動 ②新たな資源化の提案 ③資源化センターの見学方法	①ルール違反ごみの対応方法や集積所の適正な維持管理に繋がる啓発活動について記載ください。 ②今後、資源物に見込めるものについて提案してください。 ③資源化センターの見学の案内方法についてご提案ください。 その他、新たな提案がある場合はお示しください。	15
見積額		見積金額の妥当性	配点10点×（見積額のうち最低価格/当該見積額） 小数点第2位を四捨五入します。 ※委託料上限額を超えている場合は一律0点とする	10